

保幼小中一貫教育目標

自らの未来を切り拓き しなやかに生きる子どもの育成

学校教育目標

【校訓】 人・もの・ときを大切に

自立 ・ 貢献 ・ 夢づくり

～豊かな心とたくましく生きる力を備え、夢や希望をもって、未来社会の創り手となる生徒の育成～

自立

「主体性」を育み、「自ら学ぶ力」を高める

貢献

「社会性」を育み、「自ら律する力」を高める

夢づくり

「自己指導能力」を身につけ、自分らしく生きる

【めざす学校像】

- ① 生徒が楽しく安心して通える学校
- ② 生徒一人一人の良さが発揮され、互いに成長し合える学校
- ③ 生徒が誇りを持てる学校

情報収集・活用能力

知識及び技能

協働して課題解決する力

思考力・判断力・表現力

創意工夫して発信する力

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力、人間性等



【育成をめざす資質・能力と心】

困難に立ち向かう心

チャレンジ精神

自他理解と自尊心

自己肯定感・自己有用感

【めざす生徒像】

- ① 多様な価値観を認め、互いに尊重し合い、共に助け合う生徒
- ② 集団の中で、学び合い、磨き合い、高め合う生徒
- ③ 目標を定め、主体的に学び、意欲的に行動・表現する生徒

【めざす教職員像】

- ① 生徒理解に努め、生徒一人一人に寄り添い、大切にする教職員
- ② 生徒の目標達成や課題解決のために、個を大切にする教職員
- ③ 高い志を持ち、主体的に学び続け、創意工夫ある実践を進める教職員
- ④ 情報を共有し、信頼感にもとづくチームワークを大切にする教職員
- ⑤ 学び合い、高め合い、育ち合う高い同僚性を活かして協働する教職員

【めざす保護者・地域との絆】

- ① 保護者との緊密な連絡・協力の推進
- ② 地域との活発な情報交換
- ③ 生徒が地域社会で貢献できる場の提供と成果の発信
- ④ 地域の人的・物的資源を活用した教育の推進
- ⑤ コミュニティ・スクールの推進

【学校づくりの5つの柱】 「いのち」「よりそい」「つとめ」「ひろがり」「つながり」

## 【学校経営方針】

- (1) ICT を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進める。
- (2) 生徒の「自己指導能力」の獲得を目指し、その獲得を支える教育実践(学習指導に内在化した生徒指導)を行う。  
(自己存在感の感受、共感的な人間関係の形成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)
- (3) 「キャリア教育」を柱にして、「総合的な学習の時間」を軸にしたカリキュラム・マネジメントを進める。
- (4) 対応や取組の合言葉は「さしすせそ」で行う。
  - ① **さ**いしょが肝心 : 第一印象、初期対応を大切に。「計画・準備」「進んで挨拶・時間を守る・環境美化)」
  - ② **し**っかりと傾聴 : 信頼関係を築く。相手の話を最後まで聴く。「心の声」に耳を傾ける。
  - ③ **す**ばやく行動 : 何事にも「迅速・丁寧・徹底」を心がける。
  - ④ **せ**いかくな記録 : 記憶より記録。正確な情報共有を行う。そのうえでの、「報告・連絡・相談・確認」。
  - ⑤ **そ**しきで対応 : チーム力で目標を達成し、課題を解決する。困難も風通しの良い職場で解決し、乗り越える。

## 【重点目標】

### 知(「確かな学力」の育成)

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を通して、学びの質を高めるとともに、「自ら学ぶ力」を育成するための工夫を図る。
- 生徒が主役となるよう授業改善を進め、効果的な ICT の活用に取り組む。

### 徳(「豊かな心」の育成)

- 自他を大切にする態度と内面への働きかけを通して、多様性を理解する姿勢を培うと共に、「公共の精神」と「しなやかで豊かな心」、「自ら律する力」を育成する。
- 道徳教育・人権学習を充実させる中で、互いを尊重し合い、支え合い、高め合う集団づくりを目指す。

### 体(「健やかな体」の育成)

- 心身共に健康で、明るく豊かな生活を営む態度を育成する。
- 「行動体力」となる、筋力や瞬発力、持久力など測定できる体力を高め、「防衛体力」となる、体温調節や免疫力など、身体的ストレスに対して働く力を高められるように取り組む。この2つの「体力」をバランスよく向上させる。

### 社会に開かれた学校づくり

- 保護者・地域との連携による取組の推進。
- 子どもの姿や学校評価アンケート等の指標から、自己評価を行い、教育活動を振り返り、よりよい学校づくりにいかす。
- 学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現を目指し、地域に開かれた学校づくりに取り組む。

### 働き方改革の推進

- 「子どもに必要＝教職員が本当によいと思う」ことを実現。
- 自分の教職・職務における強みを理解し、その力を発揮する。教職員一人一人の学びを充実させることで、教育の質を向上させる。そのために、ICT の活用等を推進し、業務の偏りや見直し・改善等を通して負担の軽減を図る。

### 保幼小中一貫教育の推進

- 2 幼稚園・1 保育所・4 小学校・2 中学校の連携による取組の推進。(KKP)
- <めざす子ども像の共有>
  - ・人を大切にする
  - ・あいさつをする
  - ・進んで学ぶ
  - ・自分の考えを表現する
  - ・地域を愛する
- ICT の活用の連携・推進。

## 【授業実践】 「知りたい」「学びたい」「考えたい」

### 1 授業規律

- 授業準備・挨拶・着座姿勢・発言・交流・安全な活動や作業・提出物・GIGA 端末の取扱等

### 2 学びのバリエーション

- 授業の目標(めあて)が明確
- 授業の流れが明確
- 目標に迫られたかどうかの振り返り

### 3 学びの個性化

- 一人学びの時間の確保(読む・調べる・考える・まとめる)
- 個に応じた学習機会の提供

### 4 支援の工夫

- 視覚的・映像的・体感的な学び(板書・ノートづくり・資料提示・ICT の活用・タブレットドリル)

### 5 対話的な学び

- 交流や発表する場の設定(知識の共有・学び合い)
- 他者と協働して、関連付けて考える